

校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和6年度学校だより 「天の子」 第8号	発行日	令和6年8月29日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～主体的に学び 考え、行動する力と、豊かな心を育む～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 永 嶺 香 織

令和6年度全国学力・学習状況調査結果（速報）

3年生を対象に、令和6年4月18日に実施した全国学力・学習状況調査結果をお知らせします。今年度は、国語・数学の2教科について調査が行われました。なお、本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

【教科に関する調査】

国語では、話し合いでの発言や文章から目的に応じて必要な情報を取り出したり、目的に応じて文章を工夫して書いたりすることができるかを問う問題が複数出題されました。

数学では、数学の学習過程において問題発見・解決すること、設定された場面において問題を数学的に解決する問題等、数学的活動を重視した問題が出題されました。どちらの教科においても、知識・技能、思考力・判断力・表現力を問う問題です。本校調査結果は、国語54%、数学51%（全国平均正答率は国語58.1%、数学52.5%）です。

国語においては、文脈に即して正しい漢字を書く「言葉の特徴や使い方」、「文章の全体と部分とを理解し、主張と例示の関係を捉えて読むこと」の正答率が高く、全国の結果と同様に、「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結びつけて自分の考えをまとめること」、「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」に課題がありました。

数学においては、「与えられたデータから数値を求めること、複数の集団のデータの分布の読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」等、「データの活用」についての正答率が高く、「文字を用いた式の表し方」や「二つのグラフにおける事象に即した解釈すること」等、「数と式」や「関数」に課題が見られました。

【学習状況調査】

学習状況調査は生活習慣や学習習慣等について、69の質問で調査を行っています。

学習状況調査からは、家庭学習等の学習習慣に課題があることがわかります。一方、学びに向かって自分で考えて取り組むことやICT等を最大限に活用して学びを深めることなど、新しい時代に対応した学びに向かう姿勢、規範意識等が育っていることがわかります。

（★の回答は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合です。）

基本的生活習慣

質問事項	本校	全国
★朝食を毎日食べていますか	92.1	91.2
★毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	80.8	80.7
★毎日同じくらいの時刻に起きていますか	92.8	92.5
学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間PC、タブレットなどのICT機器を勉強に使っていますか（1時間以上）	21.6	16.6
平日、1日あたりどれくらいの時間ゲームをしますか（2時間以上）	59.6	48.9
平日、1日あたりどれくらいの時間スマートフォンやSNSで動画視聴をしますか（2時間以上）	67.9	55.9

挑戦心、達成感、自己有用感、規範意識、幸福感等

質問事項	本校	全国
★自分にはよいところがあると思いますか	82.2	83.3
★将来の夢や目標を持っていますか	64.5	66.3
★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.7	95.7
★人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	95.2
★普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.7	89.8

学習習慣等

質問事項	本校	全国
平日、学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか（2時間以上）	24.5	31.7
休日、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか（2時間以上）	24.5	36.2
★わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	80.8	78.6

ICTを活用した学習状況

質問事項	本校	全国
★学習の中で、PCやタブレット等のICT機器を活用することで、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる	86.4	77.7
★学習の中で、PCやタブレット等のICT機器を活用することで、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなる	92.4	86.2

主体的・対話的で深い学び

質問事項	本校	全国
★授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.7	80.3
★授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	76.2	79.0

文部科学省の調査研究においては、学習状況調査における「主体的・対話的で深い学び」の回答と「挑戦心、自己有用感、幸福感等」の回答との間には相関関係が見られるとしています。つまり、学習指導の充実を図ることが豊かな心を育むことに有効性がある可能性があるということです。

本校では、学力向上に向けては、子どもたちが自ら学び合う、協働的・探求的な学びがある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを実践し、生徒による授業アンケートを取り入れ、授業におけるPDCAサイクルを確立し、授業の工夫改善に取り組んでいます。

学習の充実を図るとともに、主体性や挑戦心、自己肯定感等の豊かな心の育成に向けては、全校集会や校則改定等、生徒会本部を中心として主体的な委員会活動や係活動を実施し、行事等を通じた人間関係づくり等教育活動全体を通して取り組ませることで、子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいます。

今後、さらに調査結果の分析を進め、学習指導の充実や生活・学習習慣の改善等に役立ててまいります。

天王寺川中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。是非、ご覧ください。

https://www.itami.ed.jp/school/Jrhhigh/jr_tenn/index.html

※右のQRコードをお読みいただき、天王寺川中学校のホームページをご覧ください。

